

平成24年度予算額 : 5,038百万円
 (うち復旧・復興対策経費 : 1,292百万円)
 (平成23年度予算額 : 4,199百万円)

※運営費交付金中の推計額

科学技術・学術審議会 先端研究基盤部会
 研究開発プラットフォーム委員会
 先端計測分析技術・機器開発小委員会(第5回)
 平成24年5月25日

背景

- 計測分析技術・機器は、世界最先端の独創的な研究開発成果を創出するための重要なキーテクノロジーであり、共通的な研究開発基盤。第4期科学技術基本計画においても計測分析技術・機器開発の重要性が明記。
- 世界各国が戦略的な投資を実施する中、我が国でも最先端かつ優れた計測分析技術・機器の開発・普及を推進することが不可欠。
- 震災からの復旧・復興や、グリーンイノベーションの推進等の政策課題、社会的課題に対応するため、本プログラムの貢献が期待。

概要

- 革新的な要素技術開発、機器開発や、実用化・研究開発現場への普及を目指すプロトタイプ機の性能実証等を推進。イノベーション創出の一層の加速を図るため、プログラムの推進・評価体制を再構築するとともに、新規公募に関しては、実用化までを見据え研究開発ターゲットを明確化。
- 平成24年度は、放射線計測分析技術・機器・システムの開発、蓄電池・燃料電池等の研究開発に必要な技術・機器の開発を重点的に実施。

